

そねどう ふどうだきいちえん
「曾根堂の不動滝一円」

- 指 定 千曲市指定名勝 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田字大窪地籍
- 所 有 者 千曲市
- 概 要 滝（自然岩 3 段、落差約 10m）
八海山大神（石造、高さ 95 cm、幅 54 cm）
御嶽神社（石造、高さ 140 cm、幅 68 cm）
不動明王像（石造、高さ 60 cm、幅 60 cm）
- 公 開 いつでも可

不動滝は、山岳信仰の霊場^{れいじょう}として古くから護られてきた場所です。

漆原^{うるしぼら}や冠着山^{かみりきやま}の奥深いところに巨大な奇岩青木層^{きがんあおきそう}（第 3 紀層）玢岩^{ひんがん}の露頭^{ろとう}があります。

石^{ひさし}が庇状^{ひさし}に突き出た下に、「御嶽神社^{おんたけじんじや}」、「八海山供養塔^{はつかいさんくようとう}」の石碑があります。また岩の上には、不動明王の石像があり、その横に 3 段落差約 10m の不動滝があります。

その昔、智識寺^{ちしきじ}の木造十一面観音立像^{もくぞうじゅういちめんかんのんりゅうざう}（重要文化財）が安置された曾根堂^{そねどう}のあった所と伝えられています。

